

# 整備計画のあらまし

補助第28号線は、大田区東海一丁目を起点とし、大田区下丸子二丁目の神奈川県境を終点とした延長約14.3kmの都市計画道路です。この補助第28号線のうち、大田区山王二丁目地内の延長約530mの区間について整備を行います。

本区間が整備されることにより、自動車交通の円滑化が図られるとともに、安全で快適な駅前空間の創出や交通結節機能の強化、防災性が向上します。

なお、事業予定区間は平成28年3月に策定した「東京都における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」において優先整備路線※に位置付けられています。

また、大森駅西口広場は、大森駅西口と北口間の補助第28号線に隣接した位置にある約1,500㎡の都市計画交通広場です。本広場が整備されることにより、歩行者空間の創出、地域の防災性向上、地域のにぎわい空間が創出されます。

※策定後10年間(H28～R7年度)で優先的に整備する路線

都市計画施設名称	東京都市計画道路幹線街路補助線街路第28号線	東京都市計画交通広場第12号 大森駅西口広場
都市計画決定	昭和21年4月25日 戦災復興院告示第15号	令和4年1月24日 大田区告示第35号
都市計画変更告示	令和4年1月24日 東京都告示第66号	大田区告示第35号
事業予定区間	大田区山王二丁目地内	大田区山王二丁目地内
延長・面積	約530m	約1,500㎡
幅員	20～30m	—
車線数	2車線(上り1車線、下り1車線)	—

## 整備箇所図

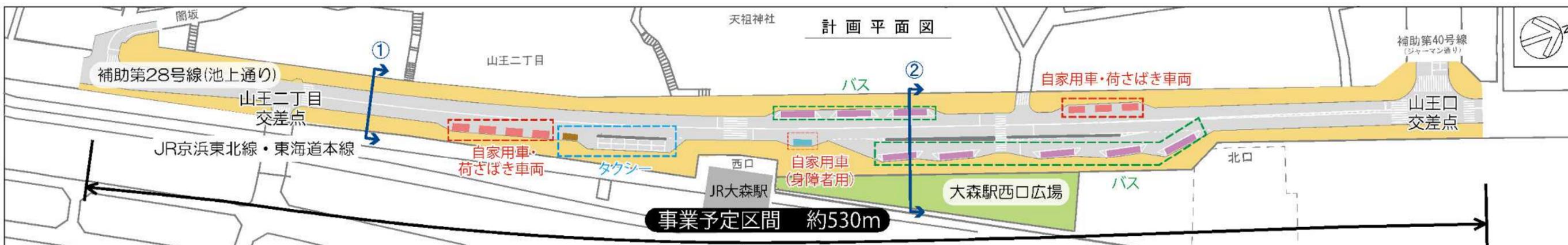
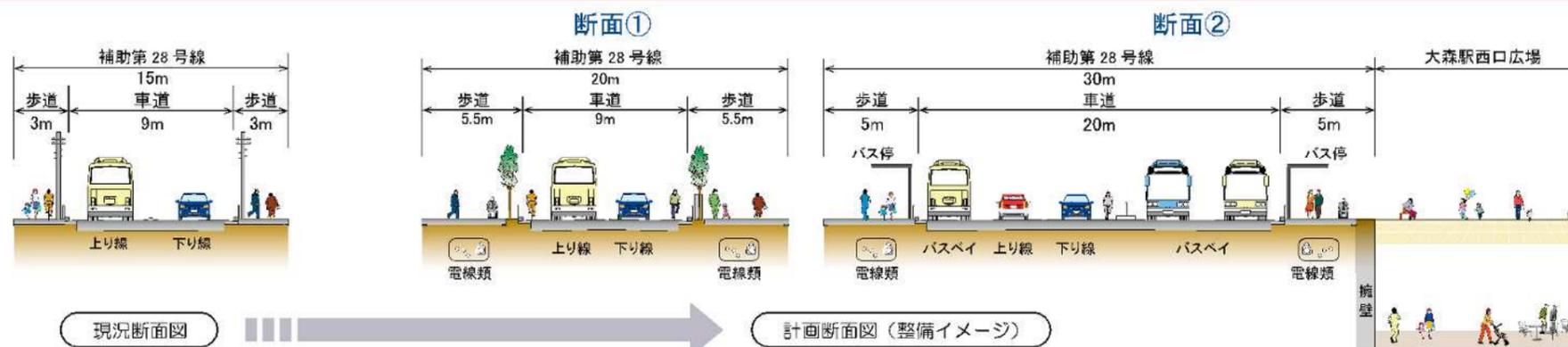


## 整備の方針

補助第28号線は、歩道空間を拡幅するとともに、歩行者の空間と自転車通行空間を分離することで安全で快適な歩行者空間を確保します。

また、自動車の本線交通とバス・タクシーの乗降場を分離するとともに、乗降場を集約して配置することで、円滑な自動車交通を確保し、交通結節機能を強化します。

大森駅西口広場は、高低差のある現地形を最大限活用しつつ、駅前商店街が担ってきたコミュニティ機能の再生・強化を図るため、重層活用によりにぎわい空間を創出します。



凡例	車道	広場	バス	自家用車・荷さばき車両
	歩道	タクシー	自家用車(身障者用)	

※関係機関との協議により変更になることがあります。

## 期待される整備効果

### 補助第28号線

#### 1 交通の円滑化

○バス・タクシーや荷さばき車両等の駐車場所を本線交通と分離することで、駅前の交通混雑緩和が期待されます。



<品川区東大井5丁目付近>整備済区間

#### 2 安全で快適な駅前空間の創出

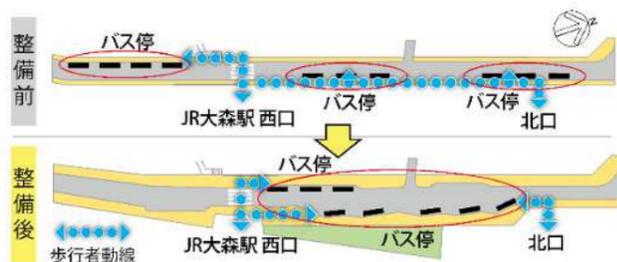
○現在の幅員3m程度の歩道幅員を5m程度に広げることで歩道部の混雑を解消し、歩行者・車椅子・ベビーカー等地域の皆さまが安全・安心に通行できるようになります。



<品川区東大井5丁目付近>整備済区間

#### 3 交通結節機能の強化

○歩道部の混雑解消やバス乗降場を集約して配置することにより、鉄道駅とバス乗降場との移動がスムーズになり、乗換利便性が向上します。



#### 4 防災性の向上

○無電柱化することにより、震災時等の電柱倒壊による道路閉塞を防ぎ、緊急車両の通行や緊急物資の輸送が可能となります。

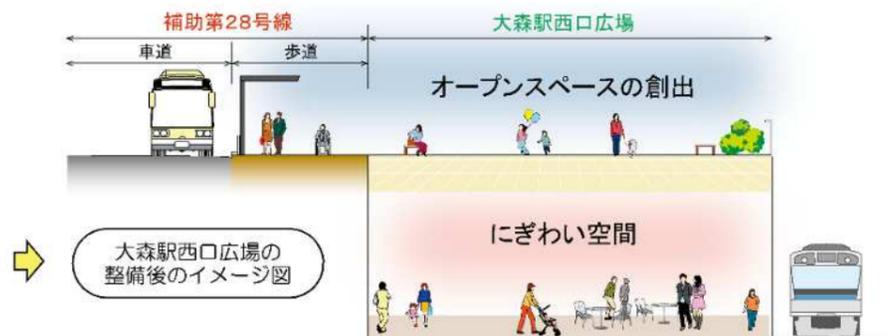


<大森駅付近> <品川区東大井5丁目付近>整備済区間

### 大森駅西口広場



<現在の大森駅西口付近>



#### 1 歩行者空間の創出

○バス待ちや待ち合わせなど、歩行者がたたずめる空間を確保します。  
○地域の歴史や文化に触れ、イベントにも活用できるオープンスペースを創出します。

#### 2 地域の防災性向上

○災害時、避難者等の一時滞留スペースや救護活動にも活用できるオープンスペースを確保します。

#### 3 地域のにぎわい空間の創出

○高低差のある現地形を最大限活用しつつ、駅前商店街が担ってきたコミュニティ機能の再生・強化を図るため、重層活用によりにぎわい空間を創出します。

## 事業の流れ

都市計画素案説明会

令和2年12月

都市計画決定・告示

令和4年1月

事業概要及び測量説明

令和4年9月

現況・用地測量の実施

令和4年9月末～

事業認可取得（事業着手）

令和6年2月

用地補償の説明

令和6年7月

用地の取得

工事の説明

工事着手

事業完了